

氏名	林 由佳		
授与した学位	博士		
専攻分野の名称	看護学		
学位授与番号	博乙第4540号		
学位授与の日付	令和3年9月24日		
学位授与の要件	博士の論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文の題目	看護師における健康アウトカムに対する職域ストレス要因とジョブ・クラフティングとの交互作用		
論文審査委員	教授 森恵子	教授 森本美智子	教授 小野智美

学位論文内容の要旨

目的：看護師における健康アウトカムに対する、職域ストレス要因とジョブ・クラフティング（JC）との交互作用を調べることを目的とした。

方法：5団体148名の看護師対象に自記式質問紙調査を行い、健康アウトカム、職域ストレス要因、JCの4つの下位尺度を測定した。線形回帰分析にて交互作用を評価した。

結果：心理的ストレス反応に対する仕事のストレインと「構造的な資源の向上」、ワーク・エンゲイジメントに対する個人的ないじめと「妨害的な要求度の低減」、疲労に対する個人的ないじめと「対人関係における資源の向上」、心理的ストレス反応に対する個人的ないじめと「挑戦的な要求度の向上」のそれぞれの交互作用が有意（ $p < 0.05$ ）であった。人口統計学的因子で調整すると、最後の交互作用のみ有意（ $p < 0.05$ ）であった。

結論：目的に記した交互作用を認めた。「挑戦的な要求度の向上」は、個人的ないじめによるストレスを緩和することが示唆された。

論文審査結果の要旨

論文審査要旨：本研究は、看護師における健康アウトカムに対する、職域ストレス要因とジョブ・クラフティング（Job Crafting, 以下JC）との交互作用を調べることを目的として、複数県にわたる5箇所の医療法人に勤務する看護師148名を対象に、自記式質問紙調査を行い、健康アウトカム、職域ストレス因子、JCの4つの下位尺度である「構造的な資源の向上」「妨害的な要求度の低減」「対人関係における資源の向上」「挑戦的な要求度の向上」を測定し、線形回帰分析にて交互作用を評価した。心理的ストレス反応に対する仕事のストレインと「構造的な資源の向上」、Work Engagementに対する個人的ないじめと「妨害的な要求度の低減」、疲労に対する個人的ないじめと「対人関係における資源の向上」、心理的ストレス反応に対する個人的ないじめと「挑戦的な要求度の向上」のそれぞれの交互作用が有意（ $p < 0.05$ ）であった。人口統計学的因子で調整すると、最後の交互作用のみ有意（ $p < 0.05$ ）であった。看護師において健康アウトカムに対する、職域ストレス要因とJCとの交互作用が認められ、「挑戦的な要求度の向上」は、個人的ないじめによるストレスを緩和することが示唆された。JCは下位尺度や特定のストレス下の想定等の特性から、ストレスコーピング等の類似する概念の探求により本研究の成果は看護学が蓄積してきたエビデンスへの貢献や位置づけが明らかになったと考えられた。JCの研究は年々増加傾向にあることが示され、心理的負担を抱える看護師の健康維持・向上にJCが役立つ可能性があり、今後の研究の発展性の観点から、本論文は、保健学研究科看護学分野における博士論文に適合すると判定した。